

(様式1)

令和5年度 学力向上を図るための全体計画

学校名	墨田区立両国中学校
校長名	渋谷 俊昌

1 本校の学力に関する状況

(1) 墨田区学習状況調査結果から

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none">・全学年、全教科において、平均正答率が全国平均を上回っている。・領域別の正答率では、第2、3学年の国語と理科の一部の領域を除いて全国平均を上回っている。・観点別の正答率では、第2学年の理科の「主体的に学習に取り組む態度」を除いて全国平均を上回っている。・D、E層の割合が減少した。	<ul style="list-style-type: none">・「基礎」よりも「活用」、「知識・技能」よりも「思考・判断・表現」の正答率が低いことから、知識・技能を活用する力の育成・理科において、目標値に対して同程度であることから、科学的な知識や概念の定着と科学的な見方や考え方を育成・A、B層の割合がやや減少傾向にあり、B層をA層へC層をB層へ引き上げることが課題

(2) 意識調査結果から

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none">・学年進行とともに、目標設定や計画性、見通しなど、学習に対する意識や行動力が高まっている。・分からないことを聞こうとするなど、学習に対する主体性が高まっている。・タブレットを活用した学習形態が浸透している。	<ul style="list-style-type: none">・目標達成のために、計画を最後までやり抜く根気強さや継続的に取り組む力の育成・普段の学習習慣の確立・漢字や文字を正確に書いたり、ある程度まとまった文章を書いたりする力の育成

(3) 墨田区学習状況調査や意識調査以外から明らかになっている学習に関する状況

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none">・生徒は落ち着いており、授業においても互いに声を掛け合いながら学習環境を整えようとする姿が見られる。・定期考査や小テストなどへの意欲が高く、努力できる生徒が多い。・ペア、小集団など、多様な学習形態において、対話的な学習に前向きに取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none">・学習に対する意識や取組方の向上・学習に対する長期的な目標の明確化及び継続した取組の徹底・課題について自ら考え、深め、表現しようとする態度の育成

2 本年度の学力向上に関する主な取組

(1) 基礎・基本の定着と発展的な課題への取組の推進

- 5教科において、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させる学習を毎回の授業に取り入れる。生徒が自分の習得状況を把握し、学習を進められるようにする。さらに、授業内や家庭学習の課題として、発展的な内容の学習にも計画的に取り組みさせるようにする。
- 朝の10分間を活用して、朝学習と朝読書を交互に通年を通して定期的に行う。
- 1人1台端末(タブレット)と各種学習アプリ等を活用し、苦手な問題や定期考査対策問題に自主的・継続的に取り組ませる。
- 週2回1時間程度の自主学習教室「両中アカデミー」、定期考査前の学年ごとの放課後学習教室、各種検定実施とその合格を目指した対策講座(面接練習)を開設し、生徒が意欲的に学習に取り組む環境を整える。

(2) 家庭学習、主体的に取り組む学習習慣の確立

- 定期考査3週間前に各教科の試験範囲を提示し、学習計画を立て主体的に学習に取り組むよう指導する。計画や記録については、目標点数や学習時間、取り組む教科名の記入だけでなく、具体的な取組内容や自己評価を詳しく記入させる。担任が学習状況を点検し、必要に応じて助言することで、生徒自身が見直し、見通しをもって学習に取り組んでいけるようにする。
- 各教科の授業において、前時とのつながりを意識した導入や発問の工夫、小テストの実施、多様な教材(プリント、ワーク、タブレット等)を活用した課題の設定を行い、継続して学習に取り組む習慣を付けさせる。

(3) 生徒の主体性を伸ばす学習活動の充実

- 今年度の校内研修のテーマに「主体的に学びに取り組む生徒の育成～学ぶ意欲の向上による学力の向上～」を掲げ、授業公開・授業研究を行う。6～7人の5グループを編成し、グループごとに各教科における生徒の主体性を育む取組について意見交換をしたり、研究授業を行い、成果と課題について協議をしたり、各自が日々の授業実践・授業改善に取り組む。研究授業以外の協議会では、各教科で使用される教材・教具や題材などについて意見交換を行い、日々の授業実践を振り返り、成果と課題を出し合い、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組んでいく。
- 生徒の学習に対する意識は、意識調査や日頃の様子からも比較的高い状況となっていることが見てとれる。生徒の学びたいという意欲を更に引き出し、主体的に学習に取り組む態度を養うために、生徒の言語活動など学習の基盤をつくる活動を充実させる。

3 「令和5年度 墨田区学習状況調査」における目標

(1) 目標

- ・全教科のDE層を20%以下に減少(今年度達成した教科は、今年度の数値以下に)する。
- ・全教科のAB層を65%以上にする。
- ・標準スコアの経年比較での向上を目指す。